

ミャンマー ビジネスサポートデスク短信

2026年1月5日

ミャンマービジネスサポートデスク 西垣 充

「ミャンマー総選挙最新情報と旅券(パスポート)発給の迅速化」

ミャンマー総選挙最新情報

2025年12月28日、ミャンマーにおいて第1回目となる総選挙が実施されました。今回の総選挙は地域ごとに3回に分けて行われる予定で、第2回は1月11日、第3回は1月25日に実施される見込みです。前回(2020年11月)の選挙で圧勝した民主化指導者ウンサンスー氏率いる政党が解党されるなど、民主化勢力の政党はほとんど参加していません。国営メディアが発表した選挙管理委員会の開票結果によると、1月4日時点で下院定数96議席のうち87議席を、国軍系政党である連邦団結発展党(Union Solidarity and Development Party、略称:USDP)が獲得したとされています。また、投票率については、国営メディアによれば第1回目は有権者の52.1%であったと伝えられています。

一方、民主化系メディアによると、12月28日に実施されたヤンゴン管区内12郡区における投票率は50%を下回り、地域によっては24~31%程度であったとも報告されています。私自身も投票当日、ヤンゴン市内数か所の投票所を訪問ましたが、懸念されていたほどには警備が厳しい印象はありませんでした。投票後には二重投票防止のため左手小指にインクを付ける仕組みとなっていますが、夕方に投票対象エリアを歩いた限りでは、インクを付けた人の姿はあまり見られませんでした。投票当日のヤンゴン市内は、投票所周辺を除けば大きな変化は見られず、全体としては日常とほぼ変わらない様子でした。

旅券(パスポート)発給の迅速化

2026年1月1日より、緊急で海外へ渡航する必要がある場合に対応した「特急パスポート」の発給が開始されました。本制度では、申請から5日以内にパスポートが発給されると発表されています。発給手数料はパスポート冊子代を含めて545,000チャット(約21,800円)です(通常の発給手数料は45,000チャット(約1,800円))。特に昨年の徴兵制発表以降、海外渡航を希望する若者が急増した影響で、一時的にパスポートの発給が困難な状況となり、ブローカーを利用して申請するケースが多く見られました。しかし、正規の手続きを踏めば、現在は問題なく発給されています。なお、ブローカーを利用した場合の費用は、30万チャット~100万チャット(約12,000円~約40,000円)とされています。海外就労や海外渡航に関して軍政府による各種制限が設けられているものの、パスポートの発給自体が著しく困難という状況ではなく、通常であればオンライン予約や事務手続きを含め、申請から発給まで10~14日程度で発給されています。

以上